



草のよしだやかかわら版

2019年 冬号

VOL25



人にも植物にも厳しい寒さですが、花壇に植えたままのチューリップやヒヤシンス等の球根が芽吹いているのを見つけ、自然の逞しさに励まされたような気がします。それでも多くの樹木はまだ休眠、若しくは緩慢と生育している季節です。お庭にあまり手がかからないこの時期、春からの構想を練って楽しみたいですね♪

冬のお手入れのお話:

吉田 龍
ガーデニング専門学校の講師をしています！



土の天地返し

冬の寒い時期に行います。土を掘り起こして表面の土と深部の土を入れ替えます。1ヶ月ほど低温や日光、寒風にさらすことで、土壌に潜んでいる害虫や雑菌の駆除になり、病虫害の予防になります。また、硬く締まった土壌も天地返しをすることで、寒気に当て、凍結を繰り返すことで適度にほぐれ、通気性が良くなります。

バラのお手入れ

多くのバラは剪定の季節です。休眠期の今は株元に栄養が蓄えられているので思い切り切ることができます。寒さで枝も硬く締まり、切り口から樹液が流れにくいので傷もふさがりやすいです。

「可哀想で切れなくて・・・」とおっしゃる方もいらっしゃるかもしれませんが、バラの花付きを良くするには『剪定』が重要です。

「草のよしだや」ではバラの年間管理のご相談も承っております。お気軽にお問い合わせ下さい。

落葉の剪定

庭木が活動を開始する春に備えて、不要な枝や葉を大幅に減らす強剪定を行うことができます。また葉を落としているこの時期は、枝ぶりを見ながら切れるので美しい樹形に整えやすいですよ。モミジ、キンモクセイ、シマトネリコ、コニファー等。